

# 平成 22 年度公立大学法人静岡文化芸術大学事業報告

## 1 目的

教育基本法及び学校教育法の趣旨に従い、静岡文化芸術大学を運営し、教育研究及び入学試験などの業務を実施するとともに、地域、国際及び世代に開かれた大学として地域・国際交流及び産学官連携事業などを実施した。

## 2 平成 22 年度事業実績

上記の目的を達成するため、国際社会の様々な分野で活躍できる人材養成等をするとともに、次の取り組みを実施した。なお、平成 22 年 4 月に学校法人から公立大学法人に移行した後も、これまで培ってきた運営方法を継承し、文化の拠点施設として引き続き地域社会等の発展に貢献している。

### (1) 法人運営管理

#### ア 役員会、経営審議会及び参与会の開催等

##### a 役員会

役員会を 13 回開催し、法人及び大学の管理・運営に関する審議を行い、その決定をした。

回数	開催日	議 題
第1回	4月1日	・役員会規程、経営審議会規程及び教育研究審議会規程の制定
第2回	4月1日	・業務方法書及び大学が徴収する料金の上限額 ・平成 22 年度事業計画案及び予算案 ・諸規程の制定及び一部改正 ・理事長の報酬の支給額
第3回	5月12日	・中期目標(案) ・招聘客員教授の任用 ・受託事業
第4回	6月9日	・中期計画及び年度計画作成方針 ・専任教員の採用 ・特別研究費の配分 ・育児及び介護休業規則等の改正
第5回	7月14日	・中期計画(案) ・受託事業
第6回	8月2日	・中期計画(案) ・名誉教授の称号授与
第7回	9月8日	・大学学則の一部改正
第8回	10月13日	・平成 22 年度 年度計画(案) ・平成 22 年度 収支補正予算(案) ・非常勤講師の委嘱 ・受託事業
第9回	11月29日	・教員及び職員給与規程の一部改正 ・役員報酬規程の一部改正 ・教員の任用 ・非常勤講師の委嘱 ・受託事業

第10回	1月12日	(報告事項のみ)
第11回	2月9日	・非常勤講師の委嘱
第12回	3月9日	・非常勤講師の委嘱
第13回	3月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長の専決処分の承認</li> <li>・平成23年度 年度計画(案)</li> <li>・平成23年度 事業方針(案)</li> <li>・平成23年度 事業計画(案)</li> <li>・平成23年度 収支予算(案)</li> <li>・就業規則の一部改正</li> <li>・期間契約職員及び非常勤職員就業規則の一部改正</li> <li>・大学院学則の一部改正</li> <li>・次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定</li> <li>・非常勤講師の委嘱</li> </ul>

b 経営審議会

経営審議会を10回開催し、法人及び大学の経営に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議 題
第1回	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務方法書及び大学が徴収する料金の上限額</li> <li>・平成22年度事業計画案及び予算案</li> <li>・諸規程の制定及び一部改正</li> </ul>
第2回	4月30日	・中期目標(案)
第3回	7月14日	・中期計画(案)
第4回	8月2日	・中期計画(案)
第5回	9月8日	・大学学則の一部改正
第6回	10月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度 年度計画(案)</li> <li>・平成22年度 収支補正予算(案)</li> </ul>
第7回	11月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員及び職員給与規程の一部改正</li> <li>・役員報酬規程の一部改正</li> </ul>
第8回	2月9日	(協議事項及び報告事項のみ)
第9回	3月9日	(協議事項及び報告事項のみ)
第10回	3月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度 年度計画(案)</li> <li>・平成23年度 事業方針(案)</li> <li>・平成23年度 事業計画(案)</li> <li>・平成23年度 収支予算(案)</li> <li>・就業規則の一部改正</li> <li>・期間契約職員及び非常勤職員就業規程の一部改正</li> <li>・次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定</li> </ul>

c 教育研究審議会

教育研究審議会を 12 回開催し、大学の教育研究に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議 題
第1回	4月1日	・諸規定(教育研究関係)の制定及び一部改正
第2回	4月22日	・中期目標(案)
第3回	6月3日	・中期計画及び年度計画作成方針
第4回	7月1日	・中期計画及び年度計画作成方針
第5回	8月2日	・中期計画(案) ・平成23年度学年暦
第6回	9月2日	・大学学則の一部改正
第7回	10月7日	・平成22年度 年度計画(案)
第8回	11月4日	・除籍とされた学生及び自主退学以外に退学した学生における在籍期間、在学期間及び履修単位の取り扱い
第9回	12月2日	(報告事項のみ)
第10回	1月6日	(報告事項のみ)
第11回	2月3日	・本学を会場とする学会の開催
第12回	3月3日	・平成23年度 年度計画(案)

d 参与会

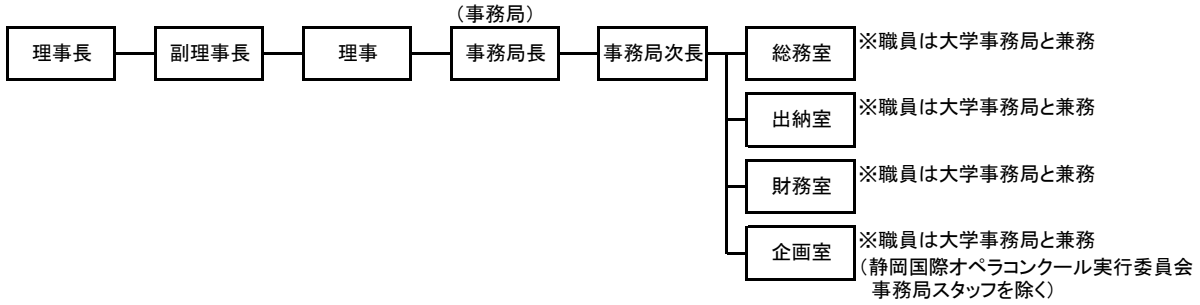
法人及び大学の運営に関する外部の意見を反映するため、参与会を 2 回開催した。

区分	開催日	報 告 事 項
第1回	10月13日	・公立大学法人化の概要 ・教育研究の取組状況 ・中期目標等 ・創立10周年記念事業
第2回	3月4日	・平成23年度事業方針(案) ・平成23年度年度計画(案) ・平成23年度入試出願状況 ・平成22年度学生生活調査の実施結果概要 ・平成22年度卒業予定者の就職内定状況

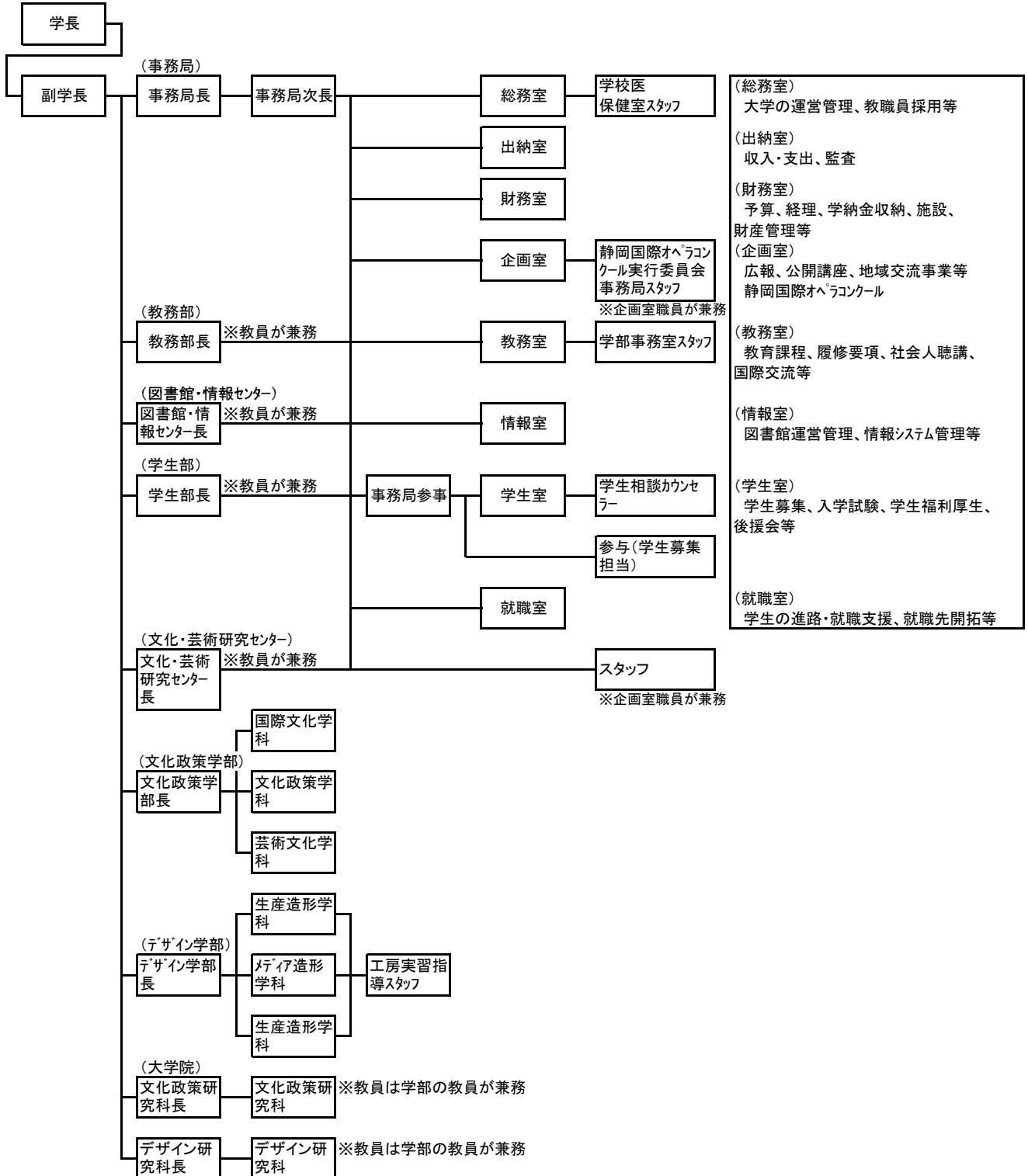
イ 法人及び大学組織

法人及び大学組織とし、それぞれに教職員を配置し、法人及び大学運営の業務を執行した。

〔法人事務局組織〕



〔大学組織〕



ウ 運動場用地の借地等

- ・所在地：浜松市北区初生町（県有地）
- ・面積：8,584 m<sup>2</sup>
- ・賃借料：無償

エ 教職員住宅の確保等

a 所有住宅

- ・名称：ビオラ田町（浜松市中区田町）
- ・戸数：25戸

b 借上住宅

ビオラ田町の入居基準に不適合又は入居できない教職員で、教職員住宅を希望する者に対して、4戸の借上住宅を提供した。

オ 校舎管理

校舎の警備、清掃及び設備管理等を業者委託により実施した。主な委託業務は次のとおり。

- ・警備業務：24時間体制の有人による警備
- ・清掃業務：床、窓、トイレ等の日常的な清掃
- ・設備管理：中央制御監視は遠隔操作等による24時間体制の管理、有人による設備保守管理等
- ・その他：電話・電気・消防用施設・昇降機等の点検、植栽等の管理業務

(2) 中期計画及び年度計画の作成

大学の設置目的及び教育理念を実現するため、中期計画（計画期間 平成22年度～平成27年度（6年間））及び平成22年度の年度計画を作成した。

〔主な項目〕

- ・教育研究等の質の向上に関する事項
- ・業務運営の改善及び効率化に関する事項
- ・財務内容の改善に関する事項
- ・自己点検及び当該情報の提供に関する事項
- ・その他業務運営に関する重要事項

(3) 教育研究の実施

ア 授業実施等

a 学生の状況

（平成23年3月31日現在）

学部名	学科名	定員	学 生 数 (人)						
			1年生	2年生	3年生	4年生	合 計		
							計	男子	女子
文化政策学部	国際文化学科	100人	110	109	120	123	462	75	387
	文化政策学科	50人	55	66	63	61	245	97	148
	芸術文化学科	50人	58	64	63	59	244	35	209
	小計	200人	223	239	246	243	951	207	744
デザイン学部	生産造形学科	40人	44	47	43	47	181	48	133
	メディア造形学科	30人	37	33	32	38	140	36	104
	空間造形学科	30人	34	38	34	35	141	43	98
	小計	100人	115	118	109	120	462	127	335
計		300人	338	357	355	363	1,413	334	1,079

大学院	定員	院 生 数 (人)				
		1 年生	2 年生	合 計		
				計	男子	女子
文化政策研究科	10 人	13	6	19	3	16
デザイン研究科	10 人	16	12	28	10	18
計	20 人	29	18	47	13	34

b 授業日程等

日 程	行 事 等
4 月 5 日	入学式
4 月 7 日	開学記念式（開学記念日：4 月 13 日）
4 月 9 日	前期授業開始
7 月 29 日	前期授業終了（夏期休業期間中に集中講義等を実施）
7 月 31 日・8 月 1 日	オープンキャンパス（参加数：1,800 人）
9 月 27 日	後期授業開始
10 月 2 日	オープンキャンパス（参加数：520 人）
11 月 6・7 日	碧風祭
2 月 9 日	後期授業終了（集中講義等も含む。）
3 月 16 日	卒業式

c 教職課程の体験記等の配布

教職の資格を取得した卒業生等の体験を取りまとめた冊子「静岡文化芸術大学で教師を目指す」を制作・配布し、学内外に啓発した。

d F D（ファカルティ・ディベロップメント）活動の取組

大学設置基準の改正に伴い平成 20 年度から F D が義務化されたことから、F D 活動に関する計画実施を所掌する組織として F D 推進委員会を設置し、次の事業を実施した。

- ・学部情報交換会の実施
- ・授業公開・授業見学の実施
- ・学科・研究科 F D 研修会の実施
- ・F D ニュースレターの発行
- ・他大学等の情報収集と研修への参加
- ・新任教員研修の開催
- ・発達障害のある学生についての研修会の実施(学生委員会共催)

イ 科目等履修生及び社会人聴講生の受入れ

- a 受入時期 年 2 回（出願時期 前期 2 月、後期 8 月）
- b 受入人数 1 科目につき 5 人程度
- c 履修科目 本学で開設する講義科目（前期 66 科目、後期 104 科目）
- d 履修期間 6 ヶ月以内（履修科目により 1 年もあり）
- e 受講者数

区 分	前 期		後 期	
	実人数	延人数	実人数	延人数
科目等履修生	0	0	1	1
社会人聴講生	128	192	126	180
計	128	192	127	181

ウ 教員研究の実施

a 学内研究

専任教員による個人研究を実施するとともに、基本テーマのほか、学長、学部長、研究科長及び文化・芸術研究センター長が重点テーマを設定し、これらに適合する特別研究（単独研究又は共同研究）も実施した（学長特別研究費、学部長特別研究費、研究科長特別研究費及び文化・芸術研究センター長特別研究費）。

また、研究紀要を発行するとともに、教員の研究活動成果を発表し、地域との交流及び貢献をした。

b 共同研究、受託研究及び受託事業の実施

学外機関との共同研究、受託研究及び受託事業を実施した。

- ・共同研究 1件 500千円（電動工具の人間工学的研究）
- ・受託研究 2件 2,200千円（富士宮市行政評価制度の研究ほか）
- ・受託事業 5件 20,679千円（富士山静岡空港ガーデンシティ基本構想作成業務ほか）

(4) 大学広報及び学生募集

本学にふさわしい学生を確保するため、各種広報・学生募集事業を実施した。

23年度入試から変更する入試実施方法の周知を重点とし、特に、受験志望校の決定に大きな影響を及ぼすオープンキャンパスにおいて、入試概要説明のコーナーを新設するなどして効果的な広報を行った。

ア オープンキャンパスの実施

- ・開催日 7月31日（土）、8月1日（日）、10月2日（日）
- ・事業内容 大学説明、学科紹介（模擬授業等）、受験相談、実技講習会等
- ・参加対象 高校生を中心とした受験生
- ・参加者数 2,320人（8月：1,800人、10月：520人）

イ 高校訪問等

教職員が県内外の高校等に出向き、大学のPR等を積極的に行い、学生確保を図った。

特に、より一層の学生確保を図るため、本県の東部地区及び愛知県三河地区を重点地区として、愛知県学生募集担当職員の高校訪問のほか、高等学校の進路担当者を対象とした説明会を、県東部地区（沼津）及び愛知県三河地区（岡崎、豊橋）で開催した。これにより、県外から数多くの受験生を確保することができた。

ウ 広報媒体による大学広報

新聞、受験雑誌、掲示広告等により入口（入学者受入）・中身（教育研究、学生生活）・出口（就職支援）に係る広報を実施した。

エ パンフレット等の作成

受験生向け・一般向けの大学パンフレット、大学院パンフレット、卒業研究制作作品集（カレンダー形式）、ニュースレター（新聞記事集）等を作成し、高校や予備校等に配付した。

オ Webサイトによる情報提供

入試情報やイベント開催情報、本学学生の活躍の様子を掲載するとともに、平成22年4月からの公立大学法人への移行についても広報した。また、平成23年4月から、大学の教育研究上の目的等の教育情報についてもWebサイトに掲載し周知しているところである。

カ 大学院の学生募集

研究意欲のある優秀な院生確保のため、デザイン研究科において、前年に引き続き学内推薦入試を実施した。

(5) 入学試験の実施

ア 学部の入学試験

- a 募集人員 300 人（入学定員と同数）
- b 募集方法 一般選抜（前期日程・後期日程）、特別選抜（推薦・社会人・帰国生徒・外国人留学生）
- c 試験時期及び会場

区 分		試験時期	試験会場
一般選抜	前期	2月25日（金）・26日（土）	本学、アクトシティ
	後期	3月12日（土）	本学
特別選抜	推薦	11月20日（土）	本学
	社会人	11月20日（土）	本学
	帰国生徒（文）	11月20日（土）	本学
	帰国生徒（デ）	2月25日（土）	本学
	外国人留学生（文）	2月5日（土）	本学
	外国人留学生（デ）	2月25日（土）	本学

d 入学試験結果

志願者数 2,590 人（志願倍率 8.63 倍）  
合格者数 394 人、入学者数 342 人

イ 大学院の入学試験

- a 募集人員 20 人（入学定員と同数）
- b 試験時期及び会場

区 分	募集研究科	試験時期	試験会場
学内推薦	デザイン研究科	6月5日（土）	本学
A日程	デザイン研究科	8月3日（火）	本学
B日程	文化政策研究科	9月18日（土）	本学
C日程	デザイン研究科	2月19日（土）	本学
D日程	文化政策研究科	3月5日（土）	本学

c 入学試験結果

志願者数 36 人（志願倍率 1.80 倍）  
合格者数 27 人、入学者数 24 人

(6) 学生の就職支援等事業の実施

キャリアオフィスの機能（学生の就職相談及び就職情報の提供等）の充実を図るとともに、学生の円滑な就職活動を支援するための事業を実施した。

<第8期生の就職状況> (平成23年3月31日現在)

	卒業者数	就職希望者数	内定者数	内定率 (%)
文化政策学部	228	200	190	95.0
デザイン学部	111	84	69	82.1
計	339	284	259	91.2

ア キャリアオフィス機能の充実

就職情報に関する収集や発信の拡充等を図り、学生の就職活動の中心拠点となるようキャリアオフィス機能を充実した。

イ 学生との個別面談の実施

3年生全員を対象に個別面談を行い、進路指導をするとともに、面談結果を踏まえた個別の就職支援を実施した。



ウ 企業情報・求人情報の提供

学生が企業情報収集しやすいよう整備を図った。

- a 企業毎のファイルにより、会社案内、求人情報を閲覧できるよう整備
- b 過去の卒業生の就職活動報告書をファイル化し、閲覧できるよう整備
- c 50万社の企業情報が収録されたCD-ROMを整備
- d 本学に届いた求人情報を検索できるよう、ネット（J-NET）を開設

エ 企業訪問等

県内外の企業等の訪問を行い、就職先の開拓等を図った。また、教職員の引率による企業訪問・企業見学を行い、学生の就職意識の高揚を図った。

オ 求人票の発送

静岡県内企業を中心に、全国約7,200社に求人票・大学概要パンフレットを送付し、就職先の開拓を図った。

カ 就職ガイダンス等の開催

- a 学内就職ガイダンスの実施（全7回実施）
- b 進路支援ワークショップの開催  
企業の若手社員等を本学に招き、学生との座談会を開催  
（9業種の企業等から講師が来校し、178名の学生が参加）
- c 企業等との情報交換会の開催  
企業等の人事担当者を本学に招き、教職員等との情報交換会を開催  
（90社、121名の人事（採用）担当者が参加）
- d 学内企業説明会  
企業（30社）の採用担当者を本学に招き、会社の説明会を開催（延659名の学生が参加）
- e 7大学合同企業ガイダンスの開催  
愛知県と県西部地区の7大学が合同で行う企業ガイダンスに参加（83名の学生が参加）
- f ビジネスマナー講座  
身だしなみ、マナー、メイクの仕方などについて指導
- g ポートフォリオ講座  
デザイン専門職を応募する際に必要なポートフォリオの作り方について指導
- h 県外の就職ガイダンスへの参加  
首都圏で行われる大規模な就職ガイダンスに数多くの学生が参加できるよう、バスを手配し実施（40名の学生が参加）

キ 学生の資格取得講座等の実施

就職活動に必要な資格取得講座及び就職支援講座を本学にて開催した。

講座名	区分	受講者数
公務員試験対策講座	教養科目	34名
	専門科目	19名
パソコンのMCAS試験対策講座		163名
模擬面接・グループディスカッション講座		269名
簿記3級試験対策講座		29名
ファイナンシャルプランナー試験対策講座		35名
公務員試験直前講座	教養科目	18名
	専門科目	14名

ク 就職関連試験の実施

試験名	受験者数
適職発見テスト (CAREER APPROACH)	326名
筆記試験対策 (SPI)	149名
エントリーシート対策テスト	328名
TOEIC学内団体受験	539名
秘書検定学内団体受験	128名

ケ 就職ガイドブック等の配布

就職活動の仕方などを記載した就職ガイドブック、内定者の報告をまとめた就職活動体験記を作成し、3年生及び教職員に配布した。

(7) 交流事業等の実施

ア 文化・芸術研究センター事業

両学部の有機的な連携のもと、文化、芸術分野の研究、交流、情報発信などの事業を実施した。

a 文化芸術セミナー、公開講座の開催

・文化芸術セミナー

開催時期	5月21日
開催場所	中講義室
開催内容	セミナー「舞台芸術の新たな可能性に向けて」
参加者数	64名

・シンポジウム

開催時期	10月30日～11月3日	12月25日、26日	1月29日
開催場所	ギャラリー	講堂、大講義室	中講義室
開催内容	UDトーク 「これからのユニバーサルデザイン」	メディアアート シンポジウム	外国人市民の社会参加と多文化共生のまちづくり
参加者数	延べ450名	延べ100名	130名

・公開講座

区分	前期公開講座	後期公開講座
開催時期	9月4日～10月16日	11月27日～1月22日
開催場所	中講義室	大講義室
開設講座数	1講座	1講座
テーマ	文化とデザインの時代Ⅱ	中国の“今”を知る
開催回数	5回	4回
受講者数	延べ204名	延べ400名

・公開工房

区分	夏季公開工房	春季公開工房
開催時期	8月21日、22日	3月26日、27日
開催場所	自由創造工房	自由創造工房
開設講座種類	4講座	5講座
テーマ	・レーザーカッターで作る干支時計 ・木炭デッサン ・光具 vol16 電球オブジェ ・テキスタイル(手織り)	・花と野菜のスケッチ ・木炭デッサン ・シルバージュエリー ・光具 vol17 持ち運びソーラー行燈 ・テキスタイル(手織り)
開催講座数	5回	6回
受講者数	延べ42名	延べ55名

b 産学官連携の推進

- ・共同研究、受託研究及び受託事業等  
((3) ウ「教員研究の実施」参照)
- ・第3回研究・開発成果発表会への参加

開催時期	6月16日
開催場所	アクトシティ浜松研修交流センター
発表内容	デジタルものづくりによる設計製造のイノベーション
参加者数	136名
主 催	静岡県、静岡大学、静岡文化芸術大学ほか

- ・第4回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu2010 への出展

開催時期	7月21日～22日
開催場所	浜松市総合産業展示館
出展内容	大学紹介パネル展示、各種パンフレット配布
参加者数	参加企業等 206 団体、来場者数延べ 6,000 人
主 催	浜松商工会議所、浜松信用金庫

c 地域文化事業の実施、協力

- ・室内楽演奏会

開催時期	6月11日、12日	11月9日、15日	11月12日
開催場所	・本学ギャラリー ・浜北文化センター	・第一生命ホール (東京) ・アクトシティ浜松	講堂
開催内容	東京藝術大学 学生による 室内楽演奏会	ショパンの愛した プレイエルピアノ	相曾賢一朗ヴァイ オリンリサイタル
参加者数	延べ200人	延べ542人	266人

- ・薪能

開催時期	10月5日～7日
開催場所	講堂、出会いの広場
内 容	第一夜：座談会「お面の裏側」 第二夜：現代劇「イタリアンレストラン」 第三夜：薪能公演 狂言「蝸牛」、能「望月」
参加者数	延べ792人

- ・ミュージカル

開催時期	12月17日、18日
開催場所	講堂
内 容	創立10周年記念特別公演「いとしのクレメンタイン」
参加者数	延べ630人

d ニュースレター「文化と芸術」の発行

- ・文化・芸術研究センターを拠点に行っている研究の成果や、活動内容を紹介するニュースレター「文化と芸術」を年2回(9月と3月に各1500部)発行している。

イ 国際交流事業

a 韓国・湖西大学校(交流協定締結 平成17年3月)

- ・交換留学生の受入・派遣

湖西大学校から、平成22年度後期～平成23年度前期に3名の交換留学生を受入れている。また、本学から、平成22年2月～6月に2名、平成23年2月～6月に2名の学生を派遣している。

- b 中国・上海工程技術大学（学術交流協定締結 平成 19 年 2 月）
- ・日中学生交流会 2010 の実施  
本学の学生及び教職員が上海工程技術大学を訪問し、学生作品交流、上海万博視察等を通して交流を行った。  
参加者 15 名（学生 12 名、教職員 3 名）  
期 間 平成 22 年 9 月 13 日（月）～9 月 17 日（金）
- c 米国・フィンドレー大学（平成 19 年 3 月 交流協定締結）
- ・交流留学生の派遣期間及び参加者  
平成 22 年 8 月 23 日～平成 22 年 12 月 9 日 国際文化学科 2 名  
平成 22 年 8 月 23 日～平成 23 年 5 月 5 日 国際文化学科 1 名、芸術文化学科 1 名
- d 英国・ウェールズ大学トリニティ・ユニバーシティ・カレッジ（交流協定締結 平成 20 年 9 月）
- ・交流留学生の派遣期間及び参加者  
平成 22 年 9 月 6 日～平成 22 年 12 月 18 日 国際文化学科 1 名、芸術文化学科 1 名  
平成 22 年 9 月 6 日～平成 23 年 6 月 30 日 国際文化学科 1 名
- e 中国・浙江大学城市学院（交流協定締結 平成 21 年 8 月）
- ・日中学生交流会 2010 の実施  
浙江大学城市学院学生及び教員が本学を訪問し、オープンキャンパス見学、学生間のディスカッション及び県内企業視察、富士登山等を通して交流を行った。  
参加者 本学 20 名（学生 13 名、教職員 7 名）  
浙江大学城市学院 13 名（学生 12 名、教員 1 名）  
期 間 平成 22 年 8 月 1 日（日）～8 月 3 日（火）

f 語学研修

区 分	英語研修	中国語研修
期 間	8 月 15 日～9 月 11 日	8 月 3 日～8 月 25 日
研 修 先	トリニティ・ユニバーシティ・カレッジ	対外経済貿易大学（北京）
参加人員	31 名	4 名

ウ 大学の地域開放事業

本学の設置理念である“開かれた大学”の実現を図るため、次の事業を実施した。

a 図書館の開放

実 施 日	月曜日～土曜日（原則）
実 施 内 容	利用対象者 20 才以上の静岡県内在住・在勤者等 開放時間 平日：9 時～20 時、土曜日：10 時～16 時 利用範囲 図書の見学、貸出等 登録者数 642 人（平成 23 年 3 月末現在） 利用者数 6,832 人／年 貸出冊数 2,533 冊／年

b 自由創造工房の開放

実 施 日	月曜日～金曜日（原則）
実 施 内 容	利用対象者 中学生以上 工房の内容 手織り、木工等の創作活動 登録者数 146 人（平成 23 年 3 月末現在） 公開工房を夏休みと春休みに開催（参加者数 8 月 42 人、3 月 55 人）

c 施設見学

小・中・高校生、市民、学外機関等を対象に年間を通じて施設見学を実施するとともに、「県民の日」事業として大学施設を公開した。22年度には約2,300人の見学があり、うち小・中学校の総合学習（ユニバーサルデザイン施設見学）の場として、計13校から1,008人の児童・生徒を受け入れた。

(8) 図書館・情報センター事業

図書等の購入のほかに、企画展示、図書館・情報センターだより「温故知新」刊行等を実施した。また、新入生全員を対象に必修科目「文化芸術総合演習」（導入教育）の中で「資料探索法」を行い、図書館の活用法やデータベースの利用法について理解を図ったほか、館内ツアーを実施した。平成22年10月にはILL文献複写等料金相殺サービスに加盟し、文献複写等の依頼・受付とともに件数が増加した。

<図書館資料所蔵数> (平成23年3月31日現在)

区分	図書(冊)	視聴覚資料(点)	雑誌(種)
日本語資料	180,374	5,898	2,590
外国語資料	25,908	699	329
合計	206,282	6,597	2,919

<図書館利用状況> (平成22年度)

区分	入館者数(人)	貸出冊数(冊)	開館日数(日)
総数	115,372	31,981	285
(うち学生)	101,001	24,983	—

<他の図書館との相互協力> (平成22年度)

区分	資料貸借(件)	文献複写(件)	備考
依頼	58	459	資料貸借：学生48% 文献複写：学生73%
受付	45	120	—
合計	103	579	—

(9) 情報システム等の整備

ア 学内情報システム機器の更新

リース満了に伴い、学内情報システム機器を更新し、新たにリース契約を締結した。(平成23～27年度リース)

イ メールシステム・ネットワーク機器更新

教職員のメールシステムの更新と、学内ネットワーク機器の設備更新を行った。

(10) 自己点検・評価の実施

ア 本学では3年に1度、全学的な自己点検・評価を行うこととしており、平成21年度に行った第3回目の全学的な自己点検・評価の結果について、平成22年度の事業計画、予算及び中期計画等に反映し、教育改善や効果的な事業執行に活用した。

また、平成22年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審し、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしているとの評価を受けた。

イ PDCAサイクルに基づく業務執行の実施

事業の目標や位置づけの明確化及び目的・目標型の業務執行の実現を図るため、施策体系図に基づいた事業計画及び予算執行を行った。

ウ 学生による授業評価（アンケート）

平成 15 年度から毎年度、学生による授業評価アンケートを前期・後期に実施し、その結果を教員にフィードバックするなど授業改善を図っている。さらに、学生の授業評価に対するコメント集を作成し、学生の履修登録の参考に資するようになっている。

・平成 22 年度後期分の概要

区分	内 容 等
対象科目	後期科目 302 科目のうち 295 科目（ゼミ、卒論等を除く）（実施率 97.7%）
質問項目	「学生自身の取組」「授業の内容や理解」「授業の運営」「総合評価」など 10 問程度
回答率	68.3%
総合評価	4.2< 5 点満点での評価による >

(11) 大学創立 10 周年記念事業の実施

これまでの 10 年間を振り返るとともに、平成 22 年度の公立大学法人化を契機に、次の 10 年に向けて本学のあるべき姿(ビジョン)を内外に示し、本学の更なる発展を目指すことを基本方針として、別添のとおり大学創立 10 周年記念事業を実施した。

## 22年度 事業別執行額の状況

(千円)

大区分	中区分	事業区分	決算額	内容
教育 研究経費	教育経費	学生募集経費	32,080	受験情報誌等広告、説明会 開催経費ほか
		入試経費	26,063	募集要項・試験問題作成費、 試験実施経費
		FD活動経費	720	学科別研修会開催経費ほか
		学生経費	58,533	教材購入費、教育備品修繕費ほか
		教育施設等修繕・管理経費	210,420	水道光熱費、設備管理委託費ほか
		工房系教室情報システム 経費	105,751	情報システム機器リース経費
		学生支援経費	17,696	授業料減免、奨学金給付経費ほか
		就職支援事業費	15,970	企業等訪問、就職ガイダンス 開催経費ほか
		地域貢献事業経費	21,420	自由創造工房開放、公開講座 実施経費ほか
		国際交流事業費	7,233	外国大学との交流事業経費ほか
	研究経費	教員研究費	131,800	専任教員の教員研究費ほか
		文化芸術研究センター 管理運営経費	1,421	印刷物発行経費、センター管理 経費ほか
		教員研修費	708	専任教員の国内外での研修費
	教育研究 支援経費	図書館経費	39,890	図書館施設管理費、図書購入費 ほか
		情報システム経費	148,598	情報システムのメンテナンス ほか
	教員 人件費	教員人件費	888,779	専任教員等80人の人件費
		非常勤教員経費	65,711	非常勤講師等の報酬
一般 管理費	管理経費	大学広報経費	25,836	大学パンフレット作成費、広告 掲載経費ほか
		教職員住宅経費	23,932	職員住宅維持管理費、借上 住宅賃借料ほか
		施設・設備等修繕・管理経費	27,502	施設修繕費、警備、設備管理 委託費ほか
		大学運営一般管理費	46,672	事務局消耗品、電話料、複写機 使用料ほか
		創立10周年記念事業経費	11,622	各事業実施経費、記念誌発行 経費ほか
		自己点検・評価事業経費	3,234	大学機関別認証評価手数料 ほか
	役員報酬	役員報酬	51,204	常勤役員4人及び非常勤役員等 の人件費
職員人件費	職員人件費	458,906	常勤職員等74人の人件費	
受託研究等経費			19,791	学外機関からの受託研究、 受託事業経費
合計			2,441,492	

(参考) 静岡国際オペラコンクールに係る事務の実施

ア 第6回静岡国際オペラコンクール開催準備

a 実行委員会・企画運営委員会・推進委員会等の開催

b 応募要項に係る諸業務

・応募要項の決定

・応募要項記者発表 平成22年9月10日(金) 都道府県会館(東京都)

・応募受付 平成23年1月1日(土)～

イ オペラおもしろ講座の開催

a 期日・会場

平成22年11月13日(土) 本学講堂

平成22年11月27日(土) あざれあ大ホール(静岡市)

平成22年12月11日(土) 三島市民文化会館小ホール(三島市)

b 出演者

平野 昭 本学教授(全会場)

伊藤真由美、柳澤利佳、小林えり(浜松)

横山靖代、海野智美、薩川美和子(静岡)

小林教子、百瀬美樹、大野浩嗣(三島)

c 入場者数等

総募集定員1,270人、総応募者数1,564人、総入場者数1,062人



## 大学創立 10 周年記念事業の実績について

平成 22 年度に創立 10 周年記念事業として、イベント、制作及び広報事業を実施した。

### 1 イベント

#### (1) 記念セレモニー

	名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
1	記念式典	10 月 23 日 (土) 10:00	アクトシティ大 ホール	一部 ・式辞 ・祝辞 ・学生による宣誓 ・「学生歌」披露 等  二部 ・記念講演（理事長） ・コンサート 光岡暁恵氏（第 5 回静岡国際オ ペラコンクール第 1 位）	約 900 人
2	レセプション	10 月 23 日 (土) 13:00	本学（学生食堂、 出会いの広場）	学生、同窓会等によるイベント、記 念写真展の開催	—

#### (2) サンクスイベント

名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
オープンキャンパス	7 月 31 日(土)、8 月 1 日(日)	本学	・市民を対象にした 大学施設案内 ・記念写真展の開催	1,809 人

#### (3) オータムフェスタ

##### ア ユニバーサルデザイン関連イベント

	名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
1	第 3 回国際ユニバー サルデザイン会議（主 催 IAUD、共催 静 岡県・浜松市）	10 月 30 日（土）～11 月 3 日（水）	アクトシテ イ浜松他	講演・研究発表・展 示会等（想定参加国 約 30 カ国）。本学関 連では 48 時間デザ インマラソン会場 協力など。	IAUD 14,110 人 浜松ほっとコ ーナ 8,507 人 デザインマラソ ン 100 人
2	作品展、シンポジウム 等	10 月 30 日（土）～11 月 4 日（木）	本学	上記の国際会議に 合わせ、ユニバーサ ルデザインへの取 組状況や成果等の 情報発信を行う。	450 人
3	ユニバーサルデザイ ン絵本コンクール	10 月 30 日（土）～11 月 3 日（水）	本学	ユニバーサルデザ インの考え方を取 り込んだ絵本のコ ンクール及び応募 作品の展示会の開 催	応募作品点 数：175 点、 表彰式：11 月 3 日、展 示会来場 者：381 名

イ 多文化共生関連イベント

	名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
1	第3回都市・自治体連 合アジア太平洋支部コ ングレス（主催 都市・自 治体連合（UCLG））	10月19日（火）～ 10月22日（金）	アクトシ ティ浜松	国際文化学科が多文化共 生に関するブースを展示予 定。 また、会議運営ボランティアと して本学学生が参画予定	150人 （ブース訪問）
2	路上演劇祭 Japan in 浜松 2010 （主催（1）～（3）財浜 松市文化振興財団、 （4）本学）	5月19日（水）～5 月23日（日）	本学ほか	関連ワークショップ等のうち、 次の4つのイベントに参画 （1）多文化共生WS （2）ジルソン氏WS （3）メキシコWS①身体表現② 演劇手法 （4）多文化共生シンポジウム	164人
3	ブラジル演劇ワークショップ （主催 SPAC）	6月24日（木）	本学（会場 提供）	SPAC「Shizuoka 春の芸術 祭2010」で公演するブラジ ルの劇団「コレティヴォ・イン プロヴァイヴ」によるワーク ショップ	50人
4	ポルトガル語討論会	8月1日（日）	本学	ブラジル人コミュニティに研究 成果をポルトガル語で報告し、 意見交換等を行う。	50人
5	多文化共生シンポジウム 「外国人市民の社会 参加と多文化共生の まちづくり」	1月29日（土）	本学	研究調査報告を元に、本 学が多文化共生分野でさ らに地域貢献を発展させ るための方向性について 意見交換を行った。	130人
6	Kearsney College 交流コンサート （主催ヴォア・ヴェール）	7月11日（日）	本学講堂	南アフリカ共和国 Kearsney College の男声合唱団、浜 松市内の3つの市民合唱 団と、本学合唱サークル「ご す」との交流コンサート	450人

ウ アート関連イベント

（ア）新作ミュージカル「いとしのクレメンタイン」

名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
「いとしのクレメンタイン」	12月17日（金）、18日（土）	本学	本学教員プロデ ュースの新作ミ ュージカル公演	630人

（イ）薪能

名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
第10回薪能	10月5日（火）～7日（木）	本学	本学教員及び学生によ る薪能の開催	792人

（ウ）室内楽演奏会

名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
室内楽演奏会	6月11日（金）・12日（土）、11月 9日（火）・12日（金）・15日（月）	本学	東京芸術大学学生、相曾 賢一朗等による演奏会	1,008人

## (エ) レオナルド・ダ・ヴィンチ複製素描画展

名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
レオナルド・ダ・ヴィンチ複製素描画展	10月14日(木)～27日(水)	本学	東大駒場博物館が所蔵するユネスコ制作の複製素描画を展示	1,732人

## エ その他

名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
文化政策学部国際文化学科 在学生ご家族対象オープンキャンパス	5月29日(土)	本学	在学生のご家族を対象にした授業見学、学科説明、教員との懇談	90人

## オ 既存事業

## (ア) 碧風祭

名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
第11回碧風祭	11月6日(土)、7日(日)	本学	学友会主催による大学祭	9,000人

## (イ) 国際交流

	名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
1	浙江大学城市学院との国際交流	8月1日(日)～3日(火)	本学、県内企業他	授業体験、県内企業・美術館・富士山視察、学生の意見交換会、歓迎パーティ他	45人
2	韓国・湖西大学校との国際大学交流セミナー2010	11月	本学	共通のテーマを設定によるセミナー、特別講義、ホームステイ等の見学他	50人

## (ウ) 公開講座

	名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
1	前期公開講座	9月4日(土)～10月16日(土)	本学	「文化とデザインの時代Ⅱ」(全5回)	204人
2	後期公開講座	11月27日(土)～平成23年1月22日(土)	本学	「中国の“今”を知る」(全4回)	400人

## (エ) オペラおもしろ講座

名 称	日 時	場 所	概 要	参加者数
オペラおもしろ講座	浜松 11月13日(土) 静岡 11月27日(土) 三島 12月11日(土)	本学 あざれあ 三島市民文化会館	第1部 講演“どうしてヒロインは死んじゃうの?!” (平野 昭教授) 第2部 コンサート“ヒロインの名アリア集	1,062人

(オ) 学生及び卒業生自主事業

	名称	日時	場所	概要	参加者数
1	納涼祭(学友会)	7月1日(木)、 8日(木)	本学ほか	学科・学年の枠に捉われることなく、学生同士がコミュニケーションを図れる機会を提供して、学生活動の活性化を図る学生交流イベント	1日:50人 8日:100人
2	Kearsney Collegeとの交流コンサート(ごす)(再掲)	7月11日(日)	本学講堂	南アフリカ共和国 Kearsney Collegeの男声合唱団、浜松市内の3つの市民合唱団との交流コンサート	450人
3	10周年記念書展(彩筆會)	8月17日(火) ~22日(日)	リエート 浜松	開学と同時に発足した本学の書道部「彩筆會」の現役学生とOB・OGによる10周年記念書展	260人
4	記念セレモニーでのイベント	10月23日(土)	本学	学生の自主事業としてイベントを実施	セレモニー参加者と同じ
5	お仕事展2010(同窓会)	10月23日(土)	本学	さまざまな分野で活躍する卒業生のパネル展示、卒業生による就職支援交換会等	約230人

2 制作

	名称	制作時期	数量	概要	実績
1	記念誌(一般向け)	10月上旬	6,000部	10年を振り返るとともに将来ビジョンを提示し、本学の果たすべき役割を広く発信した。	記念式典出席者、後援会員、同窓会員、高校等へ配布
2	記念誌(学際的)	23年度	(作成中)	大学史の観点から、本学の位置付けや設立の意義等を取りまとめる。	
3	10周年記念事業 キャンペーンロゴ・マーク	4月	—	学生から公募し、各種媒体への掲載をとおして10周年を広報した。	本学封筒、パンフ、ポスター、名刺等に掲載
4	大学グッズ	5月~ 10月	600セット 2,200セット 2,000個 3,000枚	次の大学グッズを作成した。 緑茶、茶飴(箱) ※パッケージを学生がデザイン 緑茶、茶飴(袋) ※パッケージを学生がデザイン リフレクター(反射板) ※学生がデザイン 手提げ袋 ※教員がデザイン	式典来場者、大学関係者、学生、卒業生、保護者等に配布
5	学生歌	9月	—	詞を学生・卒業生・教職員から公募し、職員の詞に決定。作曲家松下功氏が付曲し、10周年記念式典で披露した。	記念式典でコースペル・吹奏楽部により披露。

3 広報事業

企業等からの寄付を受けて、大学及び10周年記念事業の記事を、新聞全面広告に掲載した。

(10月1日、16日朝刊)